

花の苑タイムズ

苑内夏野菜栽培が最盛期

ベランダでキュウリなど栽培

苑内いくつかの場所で
行っている夏野菜栽培
（プランターによるベラ
ンダ栽培）は、水やり管
理などを職員、利用者様
にお手伝い頂きながら今
最盛期を迎えています。
このうち、一号館中庭
のベランダでは、キュウ
リ、茄子、ミニトマトが
元気に育っています。が、
キュウリについて当初植



令和8年7月15日発行
第142号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL: 027-329-7211
社会福祉法人健康生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会



て頂きました。ただ毎年
収穫してきたメロンはな
ぜか今回は実がならない
結果に終わりました。
プランター栽培の難しさ
を思い知らされました。
ミニカボチャはたくさん
の黄色の花を咲かせ、現
在実が育っており収穫が
楽しみです。

短歌大会に応募

令和八年度「心豊かに
歌う全国ふれあい短歌大
会」に、一号館ご利用者
・伊藤シズエ様が短歌二
首を応募されました。
同大会は、社会福祉法
人宮崎県社会福祉協議会
が主催するもので、今年
で25回目を迎える全国を
対象とした短歌大会。
伊藤様は、今年百歳を



越えられ、施設ユニット
内で開かれる様々な行事
にも毎回参加されるな
ど、お元気に過ごされて
います。

●みどり風 陽光（ひか
り）の影と たわむれて
静かに流れる 初夏の昼
すぎ
●吾が名をば 指でなぞ
りて 百歳の つきせぬ
思い 心に熱く

ホッと通信

このほどご利用者ご家
族様より、花の苑タイム
ズ編集部宛に嬉しいお

便りが届きましたので、
原文のままご紹介いたし
ます。
『こんにちは。今月も
「花の苑タイムズ」が届
きました。ありがとうございます。
ご健闘の様子がお見え
ます。
職員の方々が利用者様
をご家族の如く、その一
人一人の気持ちを大切に
介護して下さっている様
子を感じられ、とても嬉
しく、感謝しております。
夫は、家に居る時は草
花など手にも触れなかつ
たのに、自慢そうに得意
満面な表情が写っていま
す。皆様のお陰で新体験
の喜びを頂けたのです。
ね。今後も喜びの発見を
一つでも多くして行ける
ことを願っています。ど
うぞ宜しくお力添え下さ
いませ。
●多忙な職員様、これ
から益々暑い日が続くで
しょう。どうぞ、お身体
ご自愛くださいませ。
有難うございました。』
令和八年六月吉日
利用者家族より

雑感手帖

加藤 和昭

ヨーロッパを襲っている
記録的な熱波。猛暑に
関連した死者は二〇〇〇
人に届くと聞いた。そも
そも街の景観を優先する
ため、エアコンの普及率
も低く約20%程度とのこ
と。そりゃあそうだと感
じる。

このニュースを聞いて
いた際に殊更言われてい
たのが、「人為的な気候
変動」であった。言い換
えれば人間活動によって
排出されたCO₂が増
え、地球温暖化が加速し

ていることになるが、マ
スコミが誇張しているよ
うに感じ、何年か一度の
気温上昇で誤差の範囲で
あり、自然現象にも思え
る。あまり誇張して人為
的と言われていると、
懐疑的な気持ちも生まれ
てしまう。

しかしよく考えてみれ
ば、世界では沙漠も広が
り、アマゾンも縮小した
と聞く。日本でも「気候
変動」と言われることも
あるが、九州の方では毎
年記録的な雨が降り、災
害も増えた。気温も百年
前に比較して1・5度C
程度上昇しているらし

い。百年、二百年のスパ
ンで資本主義が拡大し、
自由な市場競争の結果が
地球に影響を与えたこと
が因果関係にあるのであ
れば「人為的な気候変動」
なのだろう。

世の中サステナブルと
言い続けているが、とる
べき行動は一つに一つ
で、もつとつましく生
きることでCO₂の排出
を抑えるか、それとも気
候変動を受け入れて生き
ることか、だろうか。今
後の世の中を憂うとは、
私も年をとったなと笑っ
てしまう。
(施設長)

「父の日」にバリスタが活躍 本格コーヒーを淹れ祝賀

「父の日」を祝い、H
Iユニットでは模擬喫茶
店を開き、本格コーヒー
を淹れ、パンケーキなど
と一緒に味わいました。
コーヒー豆を挽くと、
ホールに香ばしい香りが
広がり、利用者様から「い
い香りだね。早く飲みた
いな」との声が上がりま
した。この後、ホットプ
レートでパンケーキ作り
を開始。甘い香りが広が
りカフェの雰囲気は一段
と盛り上がりました。
パンケーキには各種の



ね」と好評でした。
この日の主役男性ご利
用者の田口様、反町様は
コーヒー好きで「インス
タントと違って美味しい
ね」と、お替りをされて
楽しんでいました。
この日のバリスタはも
ちろん新井職員。今回特
別に用意したインドネシ
ア産のコーヒーがとても
好評だったことに大変気
を良くしていました。
(H・Iユニット M)

市内アジサイ探訪カメラスケッチ

市内のアジサイ名所ス
ポットの一つ、牛臥山公
園はすでに大半が咲き終
え、わずかに山頂付近で



Gメッセで市民公開講座 腎不全の理解促進(日高病院)

日高病院主催による
「腎不全とともに生きる
ための市民公開講座」が
七月十二日、Gメッセで
開催されました。
当日は第1部（講演
会）、第2部（相談会）
に分かれ、このうち講演
会では①慢性腎臓病とは

②腎不全になった時の治
療③腹膜透析・血液透析
・腎移植等々について、
日高病院腎臓病治療セン
ターの腎臓内科医師によ
る講話があった他医師、
移植コーディネーター、
管理栄養士らによる個別
相談が行われました。

ユニツトたより

「趣味の俳句を短冊に」

G ユニツトでは季節行事の七夕飾りを行いました。ユニツトでは数日前から短冊にそれぞれの願い事を書いたり、飾りを製作したりし、当日の七夕飾りをとっても楽しみにされていた様子でした。

当日を迎え、昼寝をされていた梅澤様に飾り付け開始の声掛けをすると「ありがとう。楽しみにしていたの！」と。梅澤様は長年俳句を趣味とし句会にも通っておられたとのこと。短冊には「来し方は 影絵の如し 暖炉燃ゆ」と記されていた。世の中が平和でありま

すように「など様々な願い事が書かれていました。皆様の願い事が天に届き、叶うといいですね。」(G・S ユニツト Y)

「家族の健康が一番」

E F ユニツトの七夕行事は、短冊に皆さんそれぞれの思いや願い事を短冊に書き七夕飾りを行っ



たいだなあ、って思ってたね」と語っていました。このように皆様とは幼少期の思い出や若き頃を振り返りながら短冊飾りを楽しみました。

各ユニツトで七夕記念行事を開催

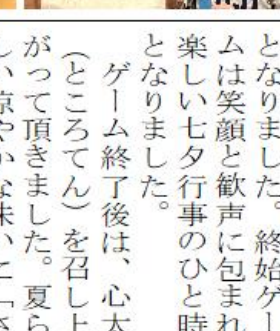
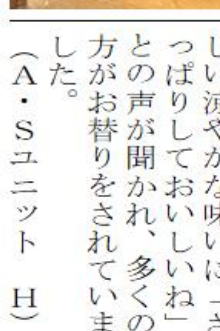
短冊にそれぞれの思いを託して

それぞれの思いの一端を短冊に記していました。井上様は「一月行事の絵馬にも書いたけど、入れ歯を入れて健康に過ごしたい！」と言われると大きな笑いが起き、「だっ

て入れ歯は大事だもんね」と大好評でした。(E・F ユニツト K)

「と言われ大爆笑を誘っていました。この日は午前中から、小坂橋様、井上様、川上様にお手伝い頂き、「七夕ゼリー」の仕込みを行いました。ゼリーの素をカップに流し込む作業を川上様と小坂橋様が行い

ました。翌日、七夕行事の二日目は彦星と織姫に向けて星を投げるミニゲームを行いました。トッ



ゲームは大いに盛り上がり、最後まで白熱した勝負が展開され、接戦の末、吉田様と遊佐様が同点の一位、三位は宮下様となりました。終始ゲームは笑顔と歓声に包まれ楽しい七夕行事のひとつとなりました。

ゲーム終了後は、心太(ところてん)を召し上がった頂きました。夏らしい涼やかな味に「さっぱりしておいしいね」との声が聞かれ、多くの方がお替りをされていました。



ユニツトたより

「壁面の七夕飾り」

D ユニツトでは、七月三日に七夕会を開催し、皆様には短冊に願い事を書いて頂き、七夕飾りを行いました。

短冊とペンを前に「願い事がたくさんあって困っちゃう」「字なんて書けないよ」と皆様最初は困惑気味。職員と一緒に悩みながらも、願い事を決めたら途端に「腰が治りますように」「いつまでも元気でいたい」とスラスラと短冊に思いを綴られていました。字を書く機会があまりないの



に、皆さんのしつかりした筆跡に驚きました。村上様は「群馬」との出だして何を書くのか注目していたら「群馬一の出世頭」と書き上げていました。字を書くのが困難な方には長寿や健康への願い、美味しいものが食べたい、家族に会いたい、などの願いを職員が代筆しました。

このあと職員が壁面に描いた笹に、それぞれの短冊を飾って頂き、織姫と彦星のイラストを添えて完成しました。煌びやかな七夕飾りをバックに記念撮影を終えると、「キレイだね」「願いごとが叶うといいね」と会話が弾み、達成感に満ちた笑顔が溢れていました。(D ユニツト I)

「健康長寿の願い」

七月に入りBCユニツトでは、七夕に向けて短冊に皆様の願いごとを書いて頂きました。

反町ナヲ江様は得意な五七五にまとめようとし

字余りを気にして頭を抱え、福島様は「これでいい？」と何度も職員に確認しながら、皆様とても集中されていました。短冊には「美味しいものが食べたい」「健康になりたい」との願いが大半を占めていました。皆様の願いを叶えるべく、これからの行事や業務に反映させていきたいと思

います。(B・C ユニツト Y)



「居酒屋で父の日祝う」

A S ユニツトでは「父の日」のお祝い行事として、『父の日特別居酒屋模範店』を開きました。

お酒はもちろんノンアルコールビール。その他ソフトドリンクも用意。おつまみはおでん、焼き鳥、枝豆、フルーツなど揃えました。居酒屋風に「お酒は何を？」と声をかけると「とりあえずビール」とばかりに注文したのは野澤様、金田様の男性陣。「ビール、ビール！」と嬉しそうに声を上げていました。皆様に飲み物が渡った

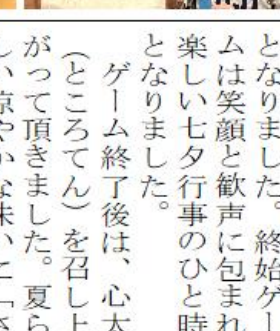
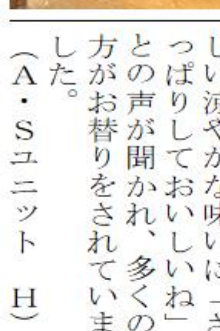


「記念行事でゲーム戦」

A S ユニツトでは七夕の季節を迎える中、利用者様と一緒に七夕行事を楽しみました。

七日当日は皆様に短冊に願い事を書いて頂きました。「家族に会いたい」「美味しいもの食べたい」等々一人一人の思いが込められた願い事が並びました。短冊を笹に吊るし、それを眺めながら会話を弾み、それぞれの願いを共有する和やかな時間を過ごしました。

翌日、七夕行事の二日目は彦星と織姫に向けて星を投げるミニゲームを行いました。トッ



ゲームは大いに盛り上がり、最後まで白熱した勝負が展開され、接戦の末、吉田様と遊佐様が同点の一位、三位は宮下様となりました。終始ゲームは笑顔と歓声に包まれ楽しい七夕行事のひとつとなりました。

ゲーム終了後は、心太(ところてん)を召し上がった頂きました。夏らしい涼やかな味に「さっぱりしておいしいね」との声が聞かれ、多くの方がお替りをされていました。



委員の一言メモ

★祖母の近所で採れたピワ。所々傷んでいた物もありましたが、甘酸っぱく美味しかったです(奎)★最近何かあるとすぐA I に相談しています。とても便利ですが、他人との交流が減りそうで心配です(和)★七夕や星座の神話を読んで憧れていた子供時代が今は懐かしいです(里)★サクランボ、桃、スイカ、もうじきブドウが実ります。果物好きにとって楽しみです(広)★あつと言う間に今年も後半戦！暑さに負けず後半戦スタート(山)★ワールドカップに毎日目が離せません。元気をもらいながら応援しています(季)★各ユニツトを彩った七夕飾り。毎年ある職員の協力で立派な笹が施設に届いています。その他職員手作りの飾りにも注目(美)★市街地の紫陽花を探すも時期すでに遅し。榛名湖周辺(市内)まで足を延ばして、やっと出会った紫陽花をカメラに(井)